

ワーカーズコープ ぽっけ地域福祉事業所(苫小牧市) フードバンクとまこまい



提供された食品



フードバンクとまこまいの
スタッフの皆さん

◇【団体発足の経緯】

- ◆ ぽっけ地域福祉事業所が運営する放課後等デイサービスや児童センター等の公共施設を利用者の方たちの中に、食事を摂れていない子がいること知り、支援の必要性を感じた。
- ◆ 2016年に社会福祉協議会や新聞社、有志の方々と共に、フードバンク団体を立ち上げ、子供たちを始めとする生活困窮者への支援を開始した。

◇【活動の概要】

- ◆ 食品は市内各所の公共施設に窓口を設置し、寄贈を受け付けている。
- ◆ 引き渡しは、個人の方々へは、市内3か所に設けている提供窓口でお渡しし、その他団体等へは事務局で提供している。また、ひとり親世帯等には配送を行う。

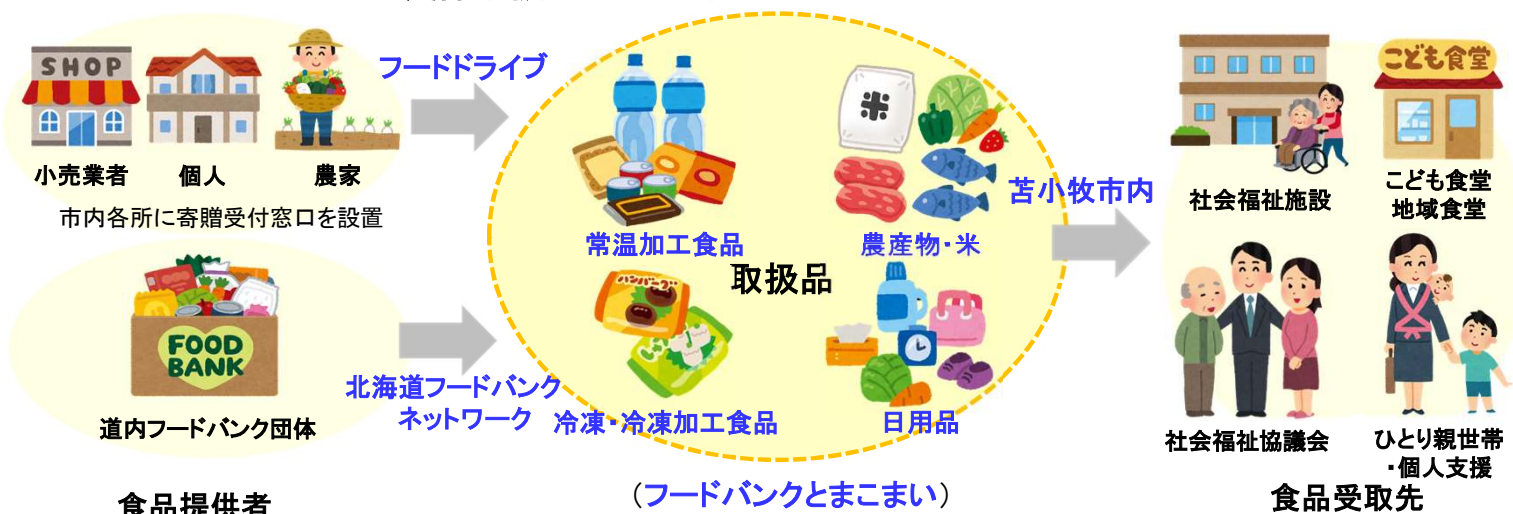
【組織の概要】

- 団体名: ワーカーズコープぽっけ地域福祉事業所
フードバンクとまこまい
- 所在地: 苫小牧市光洋町
- 代表者: 代表 松崎 愛
- 活動人数: 10名
- 活動開始時期: 2016年
- HP: <https://foodbanktomakomai.roukyou.gr.jp/>
- 北海道フードバンクネットワーク加盟
- 取扱品: 加工食品(常温・冷蔵・冷凍)、農畜水産物、日用品(消耗品、衣類、学用品)
- 提供の条件: 賞味期限が切れていない食品

【取組む際に生じた課題】

- ◆ フードバンク活動を拡大するための人手が不足している。フードバンク活動は収入の見込める活動ではないため、なんとか助成金や寄付金等で継続している。
- ◆ 一時期はコロナの影響により、全国的に企業からの食品提供も多くあったが、苫小牧でいうと、現在は企業等からの提供はほぼなくなり、個人からの寄贈がメインとなっている。そのような中で北海道フードバンクネットワークとの連携による食品提供もあり非常に助かっている。

フードバンクとまこまいの食品取扱いのフロー図



【今後の展望】

- ◆ 当初から生活困窮者や障害者福祉と組合せ、多様な方の働く場として機能させることを目指しているため、体制を整え、仕組みづくりを強化し、一つ一つ構想を実現し、まちづくりの一端を担う存在となっていきたい。